

C大腸がん4

対象疾患	大腸がん	レジメン名	Bev+l-LV+CPT-11+5-FU療法 (Bev+FOLFIRI療法)		
1コースの期間 (休薬期間含む)		14日			
総コース数		制限なし			
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL (ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
2	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
3	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~3 (Max day 2~4)
4	ベバシズマブ (Bev)	5 mg/kg	点滴静注	90分 ※備考欄参照	day 1
	生食100 mL	1 P			
5	レボホリナート (l-LV)	200 mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1
	生食250 mL	1 P			
6	イリノテカン (CPT-11)	150 mg/m ²	点滴静注	90分	day 1
	生食250 mL	1 P			
7	フルオロウラシル (5-FU)	400 mg/m ²	点滴静注	全開	day 1
	生食50 mL	1 P			
8	フルオロウラシル (5-FU)	2400 mg/m ²	持続静注	46時間	day 1
	生食250 mL	※備考欄参照			
9	生食50 mL (フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
血管外漏出 リスク分類	Bev: 非炎症性 CPT-11: 炎症性 5-FU: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 中等度 (Bev: 最小度 CPT-11: 中等度 5-FU: 軽度)				
インラインフィルター の要不要	不要				
備考欄	※Bevは、初回は90分かけて投与すること。初回時の忍容性が確認出来れば、2回目は60分で投与出来、さらに2回目も忍容性が確認出来れば、3回目以降30分で投与出来る。 ※l-LVとCPT-11は、同時に投与開始する。 ※5-FUの持続静注分は、全量230 mLとなるように調製し、bolus投与後にインフューザーポンプを用いて投与開始し46時間かけて投与する。				